

事務連絡
令和4年1月6日

森林・山村多面的機能発揮対策交付金の活動組織 各位

(一財)都市農山漁村交流活性化機構
森林・山村多面的機能発揮対策事務局

災害対策強化のお願い

林業は労働災害の発生率が他産業と比べて極めて高い状況にあり、林野庁は今後10年を目途に発生率の半減を目指して対策を強化しています。その一環として、労働安全確保に向けた対策を進めるに当たっての留意事項が別添のとおり示されたのでお知らせします。

ボランティアや住民活動等として実施する場合であっても、森林整備の活動は災害発生リスクが高いと思われれます。

安全な作業環境は、構成員、その家族、そのほか全ての関係者の方々の日々の幸せに繋がるものであり、かけがえのないものです。また活動が継続発展するための前提であります。

活動組織の皆様におかれましては、安全体制を確保した上で活動を実施していただいていると思いますが、今一度、災害発生の防止及び安全確保に係る取組の徹底をお願い致します。

なお、本年度の現時点までに交付金の活動組織で発生した災害の一覧も添付させていただきますので、対策強化の参考にされてください。

令和3年度 森林・山村多面的機能発揮対策交付金災害発生状況

(令和3年11月26日時点)

1

発生日時 令和3年7月17日 10時30分頃

受傷状況 左足脛骨骨折、左大腿骨剥離骨折

作業内容 切捨て間伐（伐倒、枝払い、玉切り）

発生状況 被災者（40代男性）は、活動組織の構成員5名と共に切捨て間伐の作業中、伐倒木（ヒノキ、樹高約20m、胸高直径24cm）の玉切り作業を始めたところ、最初の玉切り直後に材が跳ねて被災者の左足に激突し、左足がそのまま伐倒木本体の下敷きとなった。

自力で脱出できず、活動組織5名が駆け付け、伐倒木から解放し、簡易の担架により作業路まで引き上げ（標高差約30m）、病院に搬送され、受診し治療を受けた。

2

発生日時 令和3年9月12日 10時頃

受傷状況 ハチ刺され（スズメバチ）

作業内容 立ち枯れ木の伐採

発生状況 9月12日8:00より活動組織の構成員15名にて山林整備作業を開始した。

被災者（50代男性）が立ち枯れ木を伐採したところ、複数のスズメバチに囲まれてしまった。背中に強い痛みを感じたため、現場から100メートルほど走って離脱したが、その間に肩や背中、ふくらはぎなど全身7か所を刺された。

その他の構成員が直ぐに救出し建物へ移動して、ホ伊斯リムバーで毒を吸い出したのち、病院にて受診し治療を受けた。

3

発生日時 令和3年10月8日 11時20頃

受傷状況 ハチ刺され（オオスズメバチ）

作業内容 チェーンソーによる伐採集積作業

発生状況 被災者（60代男性）は活動組織の構成員4名とチェーンソーによる伐採集積作業中に、オオスズメバチに腕や背中等を10箇所以上刺された。

駐車所まで自力で歩行（約10分）し、救急車で市内の病院へ搬送され、入院し治療を受けた。